令和○年度 個別の指導計画　　　中学部　第１学年　　氏名　附特　花子

各教科等	１学期 重点目標／手だて（支援等）	達成度	２学期 重点目標／手だて（支援等）	達成度	３学期 重点目標／手だて（支援等）	達成度
国語	名前を平仮名で書くとき，拗音の［ょ］を小さく書くことができる。	○	教師の指示を聞いて，名称と色に合った具体物を手に取ることができる。	○	自分の名前を見本を見ずに，書くことができる。	
	小さい枠を用意する。		指示のことばの中に，名称と色の二つの情報が含まれていることが分かるように，ことばとことばの間に間を空けて言う。		平仮名で書かれた名前を読んだ後，それを隠して書くことを繰り返す。	
数学	円周率πを使って，円の面積を求めることができる。	○	教師が「３をください。」と言って指を３本立てるのを見て，３つの丸印がかかれたカードをとることができる。	○	整数を小数で割ることができる。	○
	［円の面積＝半径×半径×π］と書いたカードを提示し，円の半径を太い線で示す。		丸印のカードに指を３本立てたイラストを記入する。		［①割る数の小数点を一の位の右隣まで動かす。②割られる数の小数点を①と同じだけ右に動かす。］とかかれたカードを用意する。	
音楽	曲のサビに合わせて，四拍子のリズムで鈴を鳴らすことができる。	○	友達の打ったリズムの速さに合わせて曲の旋律を弾くことができる。	○	曲に合わせて，四拍子のリズムで，四小節続けて鈴を鳴らすことができる。	○
	教師が正面に立ち，四拍子のリズムの手本を見せる。		伴奏を始めるときに，友達がリズムを打つ速さに合った速さの手拍子を聴かせる。		教師が正面に立ち，最初の二小節の間，教師が一緒に四拍子のリズムを打つ。	
美術	貼り絵をするとき，見本を見て同じ位置に同じ色の紙を貼ることができる。	○	絵の具を水で溶くとき，適量の水を加えることができる。	○	クーピーで色を塗るとき，枠の大きさに合わせて，全芯色鉛筆を動かす幅を変えることができる。	○
	花なら花びら，人なら部位ごとに切り取り，注目する部分ごとに見本として提示する。		適量の水で溶いた絵の具と筆を用意し，自分の絵の具と比べられるようにする。		教師が実際に大きい枠と小さい枠をそれぞれ塗り，手を動かす幅が変わる様子を見せる。	
保健体育	転がしたボールを，相手の方向に直接蹴り返すことができる。	○	ドリブルでボールを蹴って目的の場所まで進むことができる。	○	ティーに置かれたボールをバットで打つとき，バットのより芯に近い部分にボールを当てる。	○
	「ボールの方向を見ます。」と声をかけてからボールを転がす。		ボールを小さく蹴って前に進む様子を見せる。		バットの芯の部分に印を付け，打つ前に「ここに当てるとよく飛びます。」と芯の位置を確認する。	
職業・家庭	マウスを使って，カーソルを決められた位置に動かすことができる。		タブレットを使って，撮影した写真を拡大表示することができる。	○	塗り絵アプリで，複数の色を使った着色をすることができる。	○
	ポインターを大きく表示する。		教師が隣で画面を指の腹で押さえる様子を見せる。		教師が隣で「どの色とどの色で塗りますか。」と言う。	
特別活動	時間が終わるまで清掃に取り組むことができる。	○	モップの端部分を廊下の壁に付けたままモップ掛けをすることができる。	○	ちりとりを使ってごみを取るとき，ちりとりの奥までごみを掃き入れることができる。	○
	自分の分担が終わったら，次にやることを掲示しておく。		モップの端部分と廊下の壁に水色のシールを貼り，「廊下の壁につけて拭きます。」と言う。		ちりとりの奥部分に水色の四角形をかいておく。	

ふよう	誰に対しても，正しいことば遣いであいさつすることができる。	○	友達が，全体に向けて話をしているとき，話をしている人の顔を見て聞くことができる。	○	ガムテープを段ボールの辺に貼るとき，段ボールの角がおおよそガムテープの中心になるように位置を調整することができる。	
	正しいことば遣いであいさつするときとそうでないとき両方の場合の様子を撮影し，見比べる場を設ける。		「○○さんが，話しをしています。いい姿勢で聞けるといいですね。」と，教師が声をかける。		半分ずつ色が違うガムテープを用意する。	
作業学習	雑巾を両手で絞ることができる。	○	指示された場所でモップをはたいてごみを落とすことができる。	○	決まった回数分，作業に取り組むことができる。	
	持ち方と絞り方を教師が見せる。		色テープで枠を示し，「ここでパタパタします。」と見本を見せる。		作業する回数分のマグネットとそれを貼り付けるホワイトボードを用意する。	
自立活動	【年間目標】言語やその他のコミュニケーション手段で人とかかわる場面が増える					
	決まった場所でモップをはたいてごみを落とすことができる。		給食のおかわりが欲しいとき，「おかわりをください。」とことばで教師に伝えることができる。	○	友達にも自らあいさつすることができる。	
	色テープで枠を示し，「ここでパタパタします。」と見本を見せる。		おかわりに来たときに，「どうしましたか。」と言う。		あいさつを通して友達が増えた経験を教師が話して聞かせる。	